

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年5月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 講座主任 細矢 光亮

【研究課題名】

小児特発性ネフローゼ症候群・慢性糸球体腎炎とペリオスチンの関与

【研究期間】2020年6月～2023年5月

【研究の意義・目的】

学校検尿のシステムが確立されて以来、多くの小児慢性糸球体腎炎の患者さんが早期発見されるようになり治療成績は向上してきました。しかし小児末期腎不全のおよそ15%は小児特発性ネフローゼ症候群や慢性糸球体腎炎が占めており、依然として重篤な病気であることには変わりがなく、また詳細な原因も未だ明らかになっておりません。

小児特発性ネフローゼ症候群は、腎臓の組織に障害が生じ尿へ大量のたんぱく質がもれてしまい、体内のたんぱく質が低下することでむくみなどの症状を認める、小児腎臓病で頻度の高い病気です。一部の患者さんは末期腎不全となってしまう透析療法や腎移植を余儀なくされる場合もあります。

慢性糸球体腎炎は、血尿やたんぱく尿が持続しむくみや高血圧を伴うことがある腎臓病の総称です。IgA腎症や紫斑病性腎炎、ループス腎炎、膜性増殖性糸球体腎炎、膜性腎症などの病気が挙げられます。慢性糸球体腎炎全体も頻度の高い小児腎臓病のひとつであり、2-10%の患者さんが腎不全に進行することが分かっています。

どのようにしたらこれらの疾患が慢性腎不全への進行を予防でき、新しい治療法ができるのかといった問題について、これまでに多くの研究がなされてきました。しかし、その詳しいことはまだわかっていません。

これまでの研究でも、小児特発性ネフローゼ症候群および慢性糸球体腎炎に関わる遺伝子やタンパク質について研究が進められております。遺伝子とは人間の体をつくる設計図に相当するものです。ヒトには約2万個の遺伝子があると考えられています。人間の身体は、「細胞」という基本単位からなっています。この細胞の「核」と呼ばれる部分に「染色体」があり、この中の「DNA」が「遺伝子」として働いています。DNAの指令に基づき、タンパク質ができます。そこで私たちはペリオスチンというタンパク質に着目しました。ペリオスチンは様々な炎症性疾患での発現亢進が知られており、組織の構築の維持や線維化における役割、気管支喘息などのアレルギー疾患でバイオマーカーとなることが報告されています。小児特発性ネフローゼ症候群の患者さんでは約40%にアレルギー疾患の合併が報告されており、慢性糸球体腎炎の病態も腎組織の炎症や線維化が本体となるため、本疾患とペリオスチンとの関連を検討する意義は大きいと考えます。

本研究ではご病気の治療の際の定期採血で残った血液や尿でペリオスチン濃度を測定し、ペリオスチン濃度がこれら疾患の発症や重症化に関わるかを明らかにします。これにより診断や病態メカニズムの解明、治療法開発にさらに役立つことが期待できます。

【研究の対象となる方】

- ・ 研究対象者：以下の方を対象とします。
 - ①2000年1月から2020年5月までに当院小児科で治療を行った小児特発性ネフローゼ症候群および慢性腎炎の患者さん
 - ②以下の研究課題に参加同意が得られ匿名化された試料情報が保存されている患者さん
 - ③本研究課題に参加同意を得た小児特発性ネフローゼ症候群および慢性腎炎の患者さん、腎疾患やアレルギー疾患のない患者さん
- ・ 過去の研究課題
 - 平成23年8月承認：小児難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブの使用
 - 平成29年4月承認：小児期発症IgA腎症患児における血清IgA/C3と糸球体内C3沈着度は、治療反応性や予後の予測因子となりうるか
 - 平成29年8月承認：紫斑病性腎炎症例におけるIgA1分子ヒンジ部糖鎖不全の検討

【研究の方法】

上記対象者の下記の試料・情報を研究に用います。

- ・ 試料・情報の種類：初発時、治療1か月後、寛解時、再発時までの血液尿検査の残余検体と検査データ
- ・ 試料・情報の利用方法：血液・尿中のペリオスチン濃度と検査データや臨床経過との関りを統計学的手法を用いて解析します。

【研究組織】

(所属)	(職)	(氏名)
小児科学講座	教授	細矢光亮
小児科学講座	助手	前田亮
小児科学講座	講師	陶山和秀
総合周産期母子医療センター	講師	郷 勇人
小児科学講座	助教	小野敦史
小児科学講座	助手	久米庸平

〈共同研究機関〉

佐賀医科大学
研究責任者 生化学講座 教授 出原賢一

【他の機関等への試料等の提供について】

佐賀医科大学(研究責任者 出原賢一)に、ペリオスチン濃度測定のため匿名化された血液、尿の検体を郵送にて提供します。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 前田 亮
電話:024-547-1295
E-mail:a0001734@fmu.ac.jp、FAX:024-548-6578

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系

雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 前田 亮

電話:024-547-1295

E-mail:a0001734@fmu.ac.jp、FAX:024-548-6578

